

ピボットは、前日の価格を基準に今日の相場の重要ポイントを導くインディケータです。FXTF MT4では、ピボットを表示するインディケータ「FXTF\_Fibo\_Pivot」を初期設定で利用できます。

## ピボット・ポイント表示ツールについて

ピボット・ポイントはワイルダー氏（Welles Wilder）が開発したインディケータで、主に短期売買・デイトレード向けの指標です。

ピボットは、前日の価格をもとに今日の相場の重要なポイントを導き出すインディケータです。ピボットによって出される価格はサポートやレジスタンスとして有効に機能するとして、多くの投資家に利用されています。

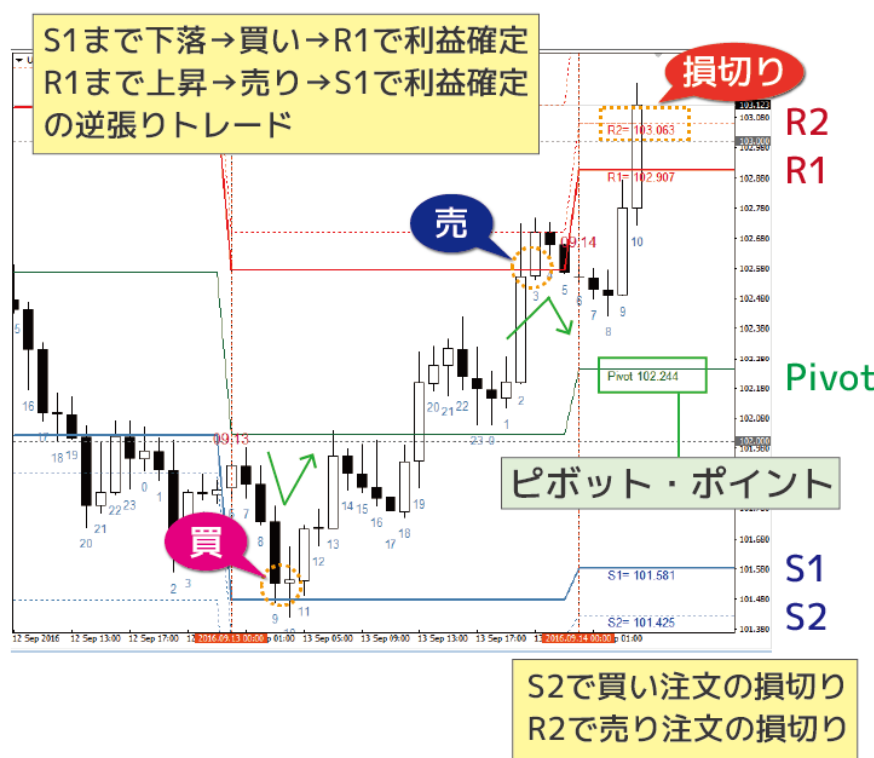
### 【「FXTF\_Fibo\_Pivot」の特徴】

- ①一般的なピボット計算（Classic）とフィボナッチ計算のピボット（Fibonacci）どちらかを選択できます。
- ②当日のピボットのみ表示する「Today」と、過去のピボットも表示する「Historical」を選択できます。
- ③ラインのカラー・スタイル・太さは自由にカスタマイズ可能です。
- ④価格ラベルをチャートに表示します。
- ⑤前日のピボット（D1）のほか、週次計算のピボット（W1）などを計算することも可能です。

### ▼ピボットの短期トレード例

ドル円1時間足に前日のピボットを表示しています。

日時の表示には「FXTF\_JapanTimeLabel」を使用しています。



## ピボットを使った最もシンプルなトレード方法

### 【一般的なピボット (Classic) のとき】

- ・ S1まで価格が下落したら新規買い注文  
→R1まで上昇したら利益確定、S2まで下落したら損切り
- ・ R1まで価格が上昇したら新規売り注文  
→S1まで下落したら利益確定、R2まで上昇したら損切り

### 【フィボナッチ・ピボットのとき】

- ・ S1～S2まで価格が下落したら新規買い注文  
→R1～R2まで上昇したら利益確定、S3～S4まで下落したら損切り
  - ・ R1～R2まで価格が上昇したら新規売り注文  
→S1～S2まで下落したら利益確定、R3～R4まで上昇したら損切り
- という**逆張りの短期トレード**です。

また、**デイトレの指標のため、一日の取引時間で到達しなければNYの終値までには決済**します。  
(一日の取引時間終了時までには決済する)

### 【注意点】

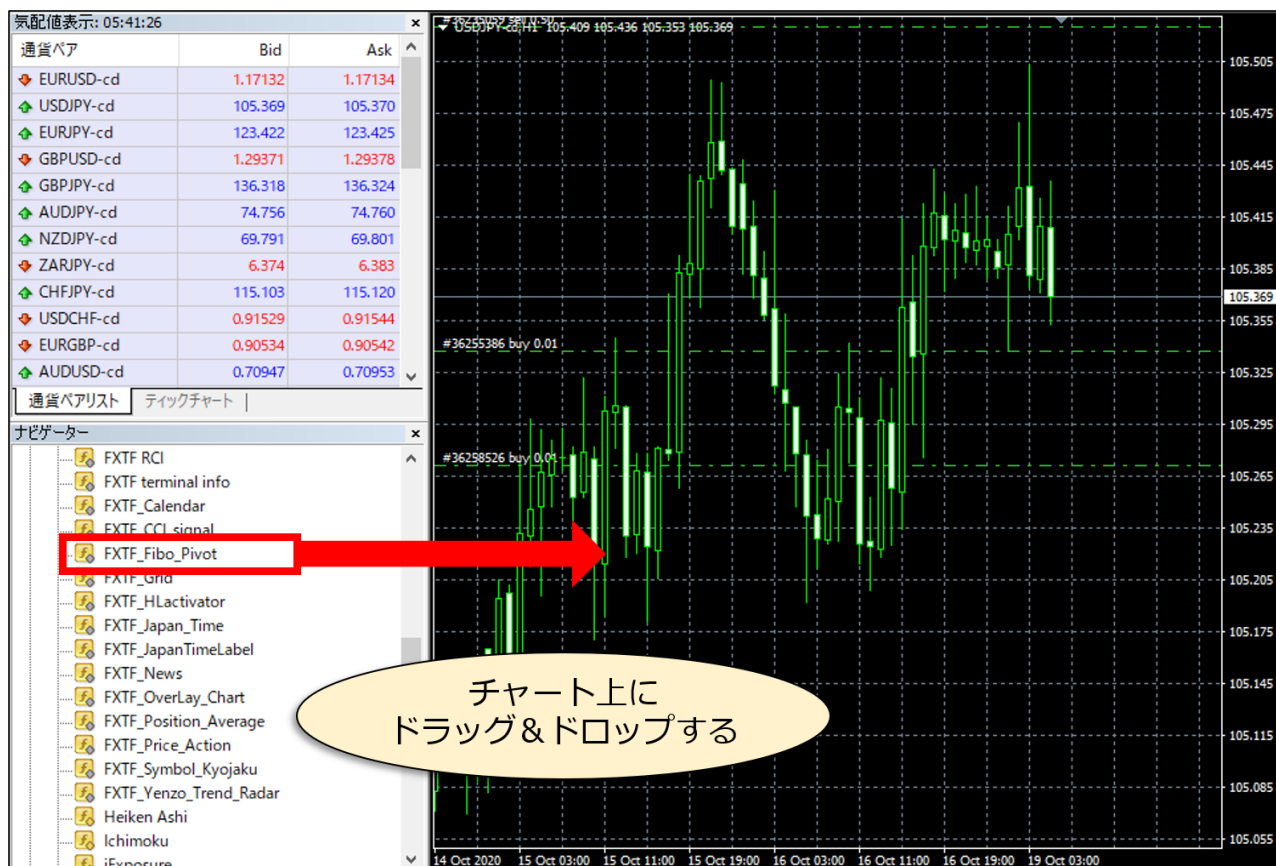
- ①前日の価格で計算するピボット (TimeFrame=D1) の場合、通常は日足より短いチャートに表示して利用されるため、週以上のチャートに切り替えた際にアラームを表示することができません。アラームはパラメータ設定でオンオフの切り替えが可能です。
- ②本インディケータはFXTF MT4 (PCインストール版) 専用です。他社の提供するMT4上では稼動しませんのでご注意ください。また、スマホアプリで使用することもできません。

## 「FXTF\_Fibo\_Pivot」をチャートに表示する方法

ナビゲーターウィンドウの「インディケータ」からインディケータを選択してチャート上にドラッグ&ドロップすることで、チャート上に表示することができます。

表示されない場合は、一度チャートの時間軸を変更すると読み込まれます。

例えばH1チャートに「FXTF\_Fibo\_Pivot」を反映して表示されない場合、M30に変更してからH1に戻すと表示されます。



## ピボット・ポイントの計算

まず、一番重要なピボット・ポイントを計算します。ピボットは、前日の3本値（高値・安値・終値）の平均値です。このピボットを中心に各ポイントは以下のように計算されます。

### ▼ピボットの計算（CalculationMode=Classic : 通常）

※P=ピボット、H=前日高値、L=前日安値

$$\text{レジスタンス3 } R3 \text{ (HBOP)} = R1 + (H - L)$$

$$\text{レジスタンス2 } R2 = P + (H - L)$$

$$\text{レジスタンス1 } R1 = P * 2 - L$$

---


$$\text{ピボット } P = (H + L + C) / 3$$


---

$$\text{サポート1 } S1 = P * 2 - H$$

$$\text{サポート2 } S2 = P - (H - L)$$

$$\text{サポート3 } S3 \text{ (LBOP)} = S1 - (H - L)$$

※ツールではR4=R2+ (H-L)、S4=S2- (H-L) も表示されていますが、パラメータ設定で非表示にすることも可能です。

### ▼ピボットの計算（CalculationMode=Fibonacci : フィボナッチ）

※P=ピボット、H=前日高値、L=前日安値

$$\text{レジスタンス・ゾーン2 } R4 = P + (H - L) * 1.382$$

$$\text{レジスタンス・ゾーン2 } R3 = P + (H - L) * 1.0$$

$$\text{レジスタンス・ゾーン1 } R2 = P + (H - L) * 0.618$$

$$\text{レジスタンス・ゾーン1 } R1 = P + (H - L) * 0.5$$

---


$$\text{ピボット } P = (H + L + C) / 3$$


---

$$\text{サポート・ゾーン1 } S1 = P - (H - L) * 0.5$$

$$\text{サポート・ゾーン1 } S2 = P - (H - L) * 0.618$$

$$\text{サポート・ゾーン2 } S3 = P - (H - L) * 1.0$$

$$\text{サポート・ゾーン2 } S4 = P - (H - L) * 1.382$$

## 「FXTF\_Fibo\_Pivot」

## ▼例) ピボットの計算

(CalculationMode=Classic : 通常)

ドル円4時間足に前日のピボットのみを表示しています。

H=102.745、L=101.419、C=102.567

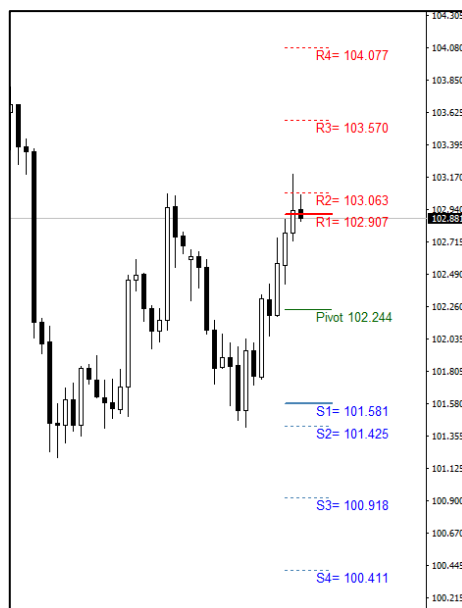


## ▼例) ピボットの計算

(CalculationMode=Fibonacci : フィボナッチ)

ドル円4時間足に前日のピボットのみを表示しています。

H=102.745、L=101.419、C=102.567



※計算時、端数は切り上げされます。

## パラメータの初期設定／設定の変更・編集

「FXTF\_Fibo\_Pivot」は、パラメーター設定を変更することで各種のカスタマイズが可能です。

## ▼パラメータ設定ウィンドウを開く方法

チャートの右クリックメニュー「表示中のインディケータ」⇒「FXTF\_Fibo\_Pivot」を選択した状態で「編集」ボタンをクリックするとパラメータ設定ウィンドウが開きます。



## パラメータ設定ウィンドウの見方

ウィンドウの各項目について、詳細を説明します。

▼パラメーター設定ウィンドウ > タブ「パラメーターの入力」



## 「FXTF\_Fibo\_Pivot」

TimeFrame	ピボット計算に使う時間足を指定します。
	初期設定では日足（D1）です。 ※通常は、より短い時間足チャートに表示して使用します。 （例：日足でピボットを計算し、1時間足チャートに表示してトレード） ※1分足～月足の中から選択できます。
CalculationMode	ピボット計算方法を指定します。
	初期設定ではFibonacci（フィボナッチ）です。 ※Classic（通常）、Fibonacci（フィボナッチ）の中から選択できます。 計算方法については上記の説明を参照ください。
ShowMode	ピボットを過去に遡って表示するかを指定します。
	初期設定ではHistorical（過去のピボットを表示する）です。 ※Historical（過去のピボットを表示する）、Today（当日のピボットのみ表示する）の中から選択できます。 Todayについて、日足以外の場合は「最新のローソク足のピボットのみ表示する」と解釈してください。
ShowAlertmessage	アラートメッセージの表示（true）・非表示（false）を設定します。
	初期設定ではtrue（アラートメッセージを表示する）です。 ※TimeFrameで指定した時間足より長い時間足にチャートを切り替えた場合、アラートメッセージを表示します。通常ピボットは日足で計算した場合、1時間足チャートなどより短い時間足に表示して利用するため、このようなアラート機能を搭載しています。
ShowLabels	ピボット・ポイントの価格ラベルの表示（true）・非表示（false）を設定します。
	初期設定では価格ラベルを表示（true）します。
Labelfontsize	ピボット・ポイントの価格ラベルのフォントサイズを設定します。
	初期設定では「10」です。
ResistanceLabelcolor	レジスタンス（R1～R4）価格ラベルのカラーを設定します。
	初期設定ではRed（赤）です。
PivotLabelcolor	ピボット（P）価格ラベルのカラーを設定します。
	初期設定ではDarkGreen（ダーク・グリーン）です。
SupportLabelcolor	サポート（S1～S4）価格ラベルのカラーを設定します。
	初期設定ではBlue（青）です。

## 「FXTF\_Fibo\_Pivot」

ShowPivot	ピボットラインのカラーを設定します。
	初期設定ではラインを表示 (true) します。
PivotColor	ピボット計算方法を指定します。
	初期設定ではDarkGreen (ダーク・グリーン) です。
PivotStyle	ピボットラインのスタイルを設定します。
	初期設定では「Solid (実線)」です。
PivotWidth	ピボットラインの太さを設定します。
	初期設定では「1」です。
ShowS1	S1ラインの表示 (true) ・非表示 (false) を設定します。
	初期設定ではラインを表示 (true) します。
S1Color	S1ラインのカラーを設定します。
	初期設定ではSteelBlueです。
S1Style	S1ラインのスタイルを設定します。
	初期設定では「Solid(実線)」です。
S1Width	S1ラインの太さを設定します。
	初期設定では「2」です。
ShowS2	サポート (S1~S4) 価格ラベルのカラーを設定します。
	S2ラインの表示 (true) ・非表示 (false) を設定します。
S2Color	S2ラインのカラーを設定します。
	初期設定ではSteelBlueです。
S2Style	S2ラインのスタイルを設定します。
	初期設定では「Dot (点線)」です。
S2Width	S2ラインの太さを設定します。
	初期設定では「1」です。
ShowS3	S3ラインの表示 (true) ・非表示 (false) を設定します。
	初期設定ではラインを表示 (true) します。



## 「FXTF\_Fibo\_Pivot」

S3Color	S3ラインのカラーを設定します。
	初期設定ではSteelBlueです。
S3Style	S3ラインのスタイルを設定します。
	初期設定では「Dot（点線）」です。
S3Width	S3ラインの太さを設定します。
	初期設定では「1」です。
ShowS4	S4ラインの表示（true）・非表示（false）を設定します。
	初期設定ではラインを表示（true）します。
S4Color	S4ラインのカラーを設定します。
	初期設定ではSteelBlueです。
S4Style	S4ラインのスタイルを設定します。
	初期設定では「Dot（点線）」です。
S4Width	S4ラインの太さを設定します。
	初期設定では「1」です。
ShowR1	R1ラインの表示（true）・非表示（false）を設定します。
	初期設定ではラインを表示（true）します。
R1Color	R1ラインのカラーを設定します。
	初期設定ではRed（赤）です。
R1Style	R1ラインのスタイルを設定します。
	初期設定では「Solid（実線）」です。
R1Width	R1ラインの太さを設定します。
	初期設定では「2」です。
ShowR2	R2ラインの表示（true）・非表示（false）を設定します。
	初期設定ではラインを表示（true）します。
R2Color	R1ラインのカラーを設定します。
	初期設定ではRed（赤）です。

## 「FXTF\_Fibo\_Pivot」

R1Style	R1ラインの太さを設定します。
	初期設定では「2」です。
R1Width	R2ラインの表示 (true) ・非表示 (false) を設定します。
	初期設定ではラインを表示 (true) します。
R2Color	R2ラインのカラーを設定します。
	初期設定ではRed (赤) です。
R2Style	R2ラインのスタイルを設定します。
	初期設定では「Dot (点線)」です。
R2Width	R2ラインの太さを設定します。
	初期設定では「1」です。
ShowR3	R3ラインの表示 (true) ・非表示 (false) を設定します。
	初期設定ではラインを表示 (true) します。
R3Color	R3ラインのカラーを設定します。
	初期設定ではRed (赤) です。
R3Style	R3ラインのスタイルを設定します。
	初期設定では「Dot (点線)」です。
R3Width	R3ラインの太さを設定します。
	初期設定では「1」です。
ShowR4	R4ラインの表示 (true) ・非表示 (false) を設定します。
	初期設定ではラインを表示 (true) します。
R4Color	R4ラインのカラーを設定します。
	初期設定ではRed (赤) です。
R4Style	R4ラインのスタイルを設定します。
	初期設定では「Dot (点線)」です。
R4Width	R4ラインの太さを設定します。
	初期設定では「1」です。

当ツールは、お取引の参考となる情報の提供を目的とするもので、投資方針や時期選択などの最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。